

紙風船



元気な声が校内に！(後学期後半開始)

1年間の総まとめ <成長した自分を感じ取ります>

一昨日16日(月)から後学期後半が始まりました。56人の子どもたち全員が元気に登校し、寒々としていた校舎に活気が戻りました。各教室では、冬休み中の出来事を笑顔で楽しそうに話し合う子どもたちの姿が見られ、どの子どもも充実した冬休みを過ごすことができたのだな〜と、私も笑顔になりました。

さて、今年度を締めくくる後学期後半。わずか2ヶ月半と期間は非常に短いのですが、子どもたちにとってはとても大事な期間となります。学習面でも生活面でも、4月からの1年間でできるようになったことや頑張ったこと、できなかったことやもう少し頑張ればよかったことなどを確かめながら、この1年間の自分の成長を自分自身で感じ取り、新年度に向けての土台作りをする時期となります。今後、様々な機会を捉えて1年間を振り返りながら、子どもたちの成長を確かめることができるようにしていきます。また、子どもたちは新年の始まりに新たな目標を立てたと思いますが、その目標の実現を目指して元気に学校生活を送ることができるように、職員一丸となって「今できることに精一杯」取り組んでいきますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



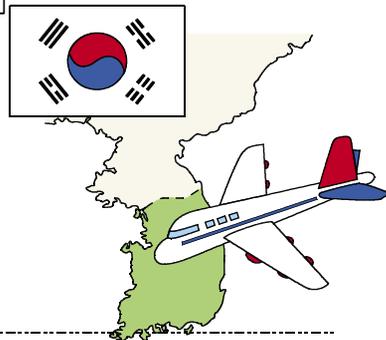
「紙風船」完成間近か！ 韓国の子どもたちと一緒に最後のはよげ！

来月行われる地域の伝統行事の『紙風船上げ』に向けて、子どもたちが「紙風船作り」を行ってきましたが、来週月曜日(23日)によいよ完成する運びとなりました。その最終日には、韓国の小・中学生と一緒に最後の仕上げをすることになりましたので、是非その様子をご覧いただければと思います。

時間は午前9時30分頃〜10時30分くらいの1時間程度の交流となります。

◇なぜ交流を？

小・中学生10人を含む総勢30人を超える韓国からの視察団が「アートツアー」と銘打って、1月20日〜23日までの3泊4日の日程で秋田県南部を視察することになっています。その視察団から「この機会に是非地元の子供たちと交流したい」との要望があったそうです。視察団は今日の日曜日(22日)には仙北市内の民宿に分かれて宿泊する予定になっていますが、宿泊した翌日(23日<月>)に「紙風船作り」の予定があった本校に白羽の矢が立ったようです。もしかしたら、どなたかが『アート=松木内小学校』と考えて声をかけてくださったのかもしれませんが。担当の方からの要請を受けて「外国の子供たちと交流することは貴重な体験で、絶対子供たちのためになる」と即座に(勝手に)判断して、交流させていただくことにしました。韓国の子供たちと交流することを通して、多くの友達と仲良くなることの喜びや物怖じせずに積極的に声をかけることの大切さ、世界に目を向け視野を広げることの楽しさなどを体得できるのではないかと期待しています。また、視察団には韓国の画家の方々(4名)も含まれているとのことでしたので、これまで「子ども美術館構想」によって校舎内外に描画・展示されてきた階段アートや壁面アート、顔出し看板などの展示物を専門家の目を通して見ていただくこととなります。画家の皆さんには、きっと『원더풀(ウオンドフル)=wonderful』という感想とともに、この環境で学ぶ子供たちの感性の豊かさを褒めていただけるのではないかと確信しています。



「スキー学習・教室」へのご協力 よろしく申し上げます。

正月明けもしばらく道路に積雪がない状態が続き「今年は降雪が少なく暖冬かな？」と淡い期待をしていたのですが、冬休みも終わりいよいよ学校が始まる頃になって、大寒波とともにしっかりと積雪がありました。子どもたちは、来週から始まる「スキー学習・教室」を初めとする『スキー』の授業をとっても楽しみにしていることもあり、この積雪をとっても心待ちしていたようです。

今年の「スキー学習・教室」は1月25日(5, 6年)、27日(3, 4年)、31日(4~6年)、2月2日(1~3年)を予定しています。

この「スキー学習・教室」は田沢湖スキー場において行われるのですが、我々職員だけでは指導がままならず、今年も保護者の皆様に「指導者・協力者」として協力いただくことをお願いをさせていただいたところ、平日にもかかわらず、4日間で延べ34人の保護者の皆様からご協力いただくこととなりました。ご協力いただくことになった保護者の皆様、本当にありがとうございます。何卒よろしく申し上げます。



今年もよろしく 申し上げます！

穏やかな年の始まりでしたが、やはり本物の『冬』はやってくるものなのですね。さて今年の干支は「丁酉」。陰陽五行説によると「丁」は陰の火、「酉」は陰の金で「相剋」の関係となるそうです。「相剋」には「安定する」という意味があり、植物が成長し一定の大きさに達して(安定して)きた状態をさす「丁」と、果実が成熟の極限に達した状態をさす「酉」。この二つが相剋の関係にあるという事だそうですので、今年は何かいいことが起こりそうな予感がします。年の初めの「積雪ゼロの状態」だけでいいことが終わらないように、しっかりと物事を進めていきたいと思っておりますので、今年もよろしく申し上げます。